

# 県内初 全小中に司書

子どもの読書促進のため臼杵市教委は本年度、市内19の小中学校全てに学校司書を配置した。同市教委によると、全校配置は県内の市町村で初めて。学校図書館と市立図書館をつなぐ中核組織「うすき読書のまちづくりステーション」も市立臼杵図書館内に新設した。

昨年度の市内の学校司書は12人。比較的規模の大きい学校以外は複数校を兼務していた。本年度、市教委独自で予算措置し7人増やした。市教委は読書の促進で▽豊かな心を養う▽読み書き向上につなげるなどの効果を期待。学校司書が旗振り役となり、授業での図書館活用も増やしていく。実

務能力を高めるため、月1回程度の研修会を計画。4月上旬に第1回を開いた。「うすき読書のまちづくりステーション」は読書推進員1人、市立図書館司書2人、市教委の指導主事1人の計4人で構成。相互貸し借りなどを通じた学校図書館と市立図書館の連携、子どもへの読み聞かせをする市民の育成や学校への橋渡しなどを担う。具体的に力を自然に身に付け学力は学校に向け、学校司書や子どもたちにアドバイスしたり、さまざまなレベルで読み聞かせ講座を開いて実りする。

## 臼杵市 子どもの読書促進



第1回の研修会に集まった小中学校の学校司書=臼杵市

### 市立図書館と連携も

臼杵市教委は本年度、市内19の小中学校全てに学校司書を配置しました。全校配置は大分県内の市町村で初めてだそうです。

①全校に配置した目的は何ですか。

②読書をすることで、どのような効果を期待していますか。

③自分たちの学校図書館に望むことは何でしょう。話し合ってみよう。

(2013年5月3日朝刊14面)